

深谷市環境基本計画策定業務
アンケート結果報告書
(事業者アンケート編)

令和4年4月

1 アンケート調査の概要

(1) 目的

深谷市環境基本計画の見直しに当たり、市民、事業者の皆様と生活をされる中で、お住まいの地域や市全域に関して日頃感じておられる事をお聴きし、計画に反映できるよう実施するものです。

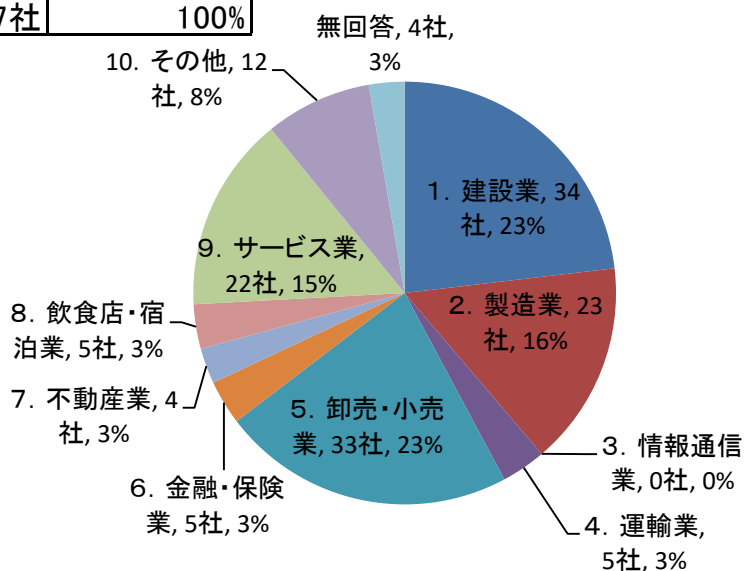
(2) 事業者アンケート調査

- (a) 調査対象 深谷市内の 300 事業者
- (b) 抽出方法 排出事業者から無作為に抽出
- (c) 調査方法 郵送配布・郵送回収
- (d) 調査期間 令和 3 (2021) 年 12 月 1 日～12 月 28 日
- (e) 回収数 147 事業者 (回収率 49.0%)

2 回答者の属性

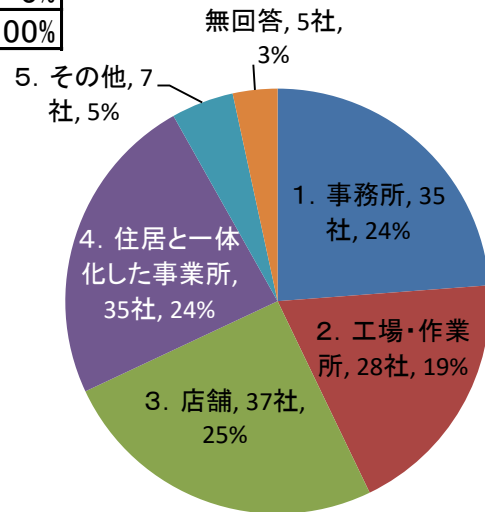
2-1 業種について

1. 建設業	34社	23%
2. 製造業	23社	16%
3. 情報通信業	0社	0%
4. 運輸業	5社	3%
5. 卸売・小売業	33社	22%
6. 金融・保険業	5社	3%
7. 不動産業	4社	3%
8. 飲食店・宿泊業	5社	3%
9. サービス業	22社	15%
10. その他	12社	8%
無回答	4社	3%
計	147社	100%



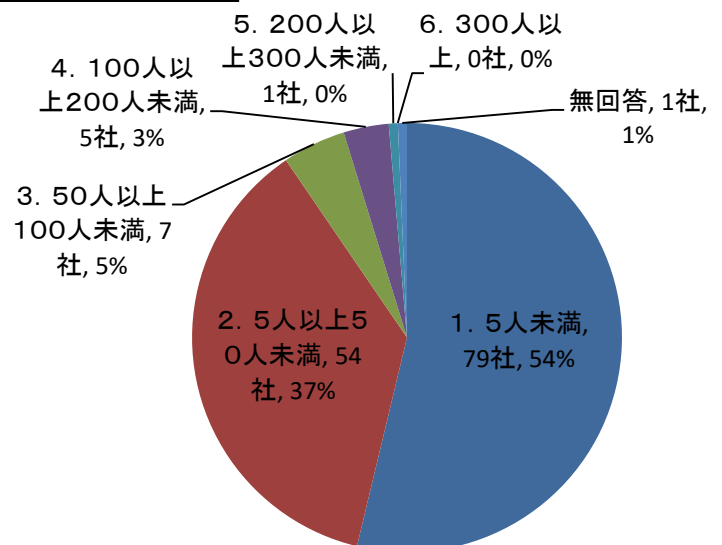
2-2 事業形態について

1. 事務所	35社	24%
2. 工場・作業所	28社	19%
3. 店舗	37社	25%
4. 住居と一体化した事業所	35社	24%
5. その他	7社	5%
無回答	5社	3%
計	147社	100%



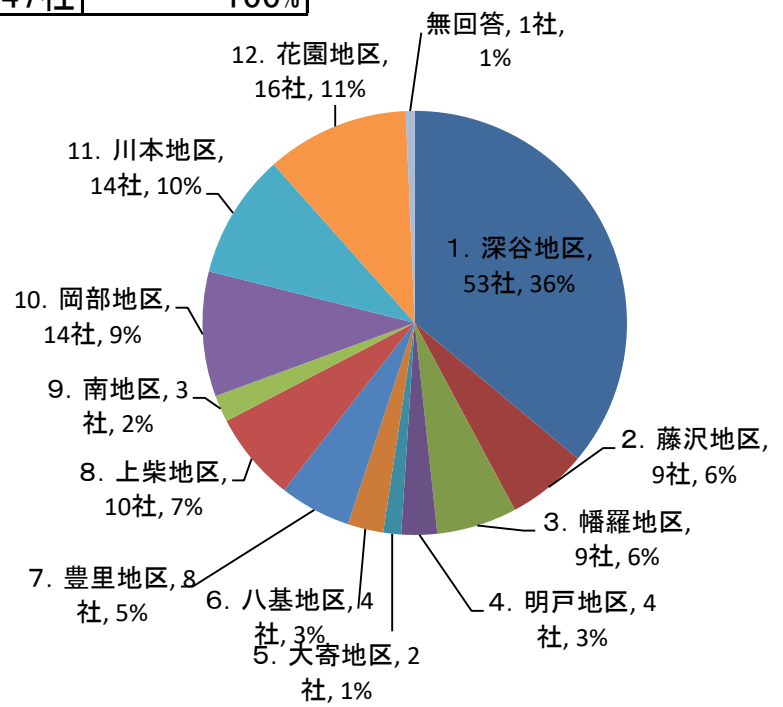
2-3 従業員数について

1. 5人未満	79社	54%
2. 5人以上50人未満	54社	37%
3. 50人以上100人未満	7社	5%
4. 100人以上200人未満	5社	3%
5. 200人以上300人未満	1社	1%
6. 300人以上	0社	0%
無回答	1社	1%
計	147社	100%



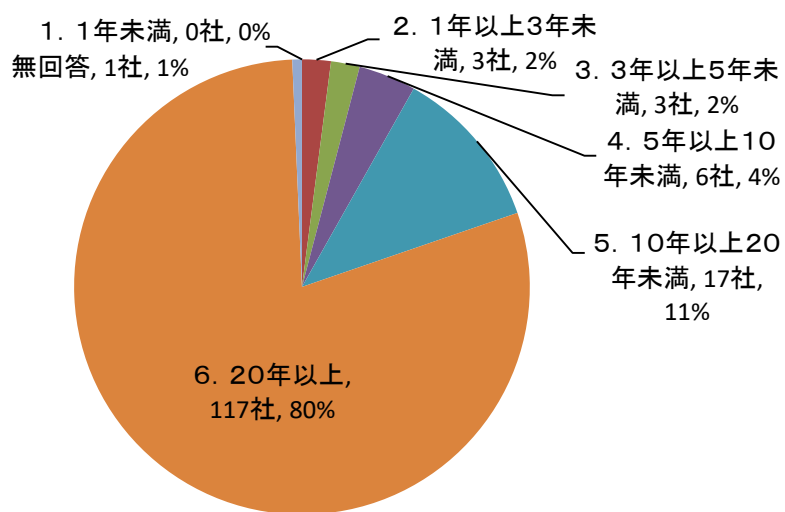
2-4 所在地区について

1. 深谷地区	53社	36%
2. 藤沢地区	9社	6%
3. 幡羅地区	9社	6%
4. 明戸地区	4社	3%
5. 大寄地区	2社	1%
6. 八基地区	4社	3%
7. 豊里地区	8社	5%
8. 上柴地区	10社	7%
9. 南地区	3社	2%
10. 岡部地区	14社	10%
11. 川本地区	14社	10%
12. 花園地区	16社	11%
無回答	1社	1%
計	147社	100%



2-5 深谷市での事業年数について

1. 1年未満	0社	0%
2. 1年以上3年未満	3社	2%
3. 3年以上5年未満	3社	2%
4. 5年以上10年未満	6社	4%
5. 10年以上20年未満	17社	12%
6. 20年以上	117社	80%
無回答	1社	1%
計	147社	100%



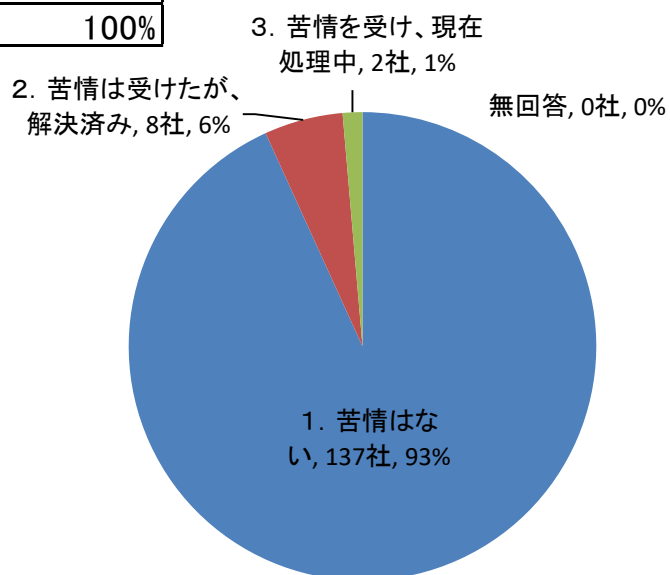
3 環境への意識調査

(1) 環境全般について

問2 - 6 貴事業所は、直近5年間の間に環境に関する苦情を受けましたか。(あてはまるもの1つに○)

・設問に対し、「苦情はない」の回答が最も多く93%という結果となりました。

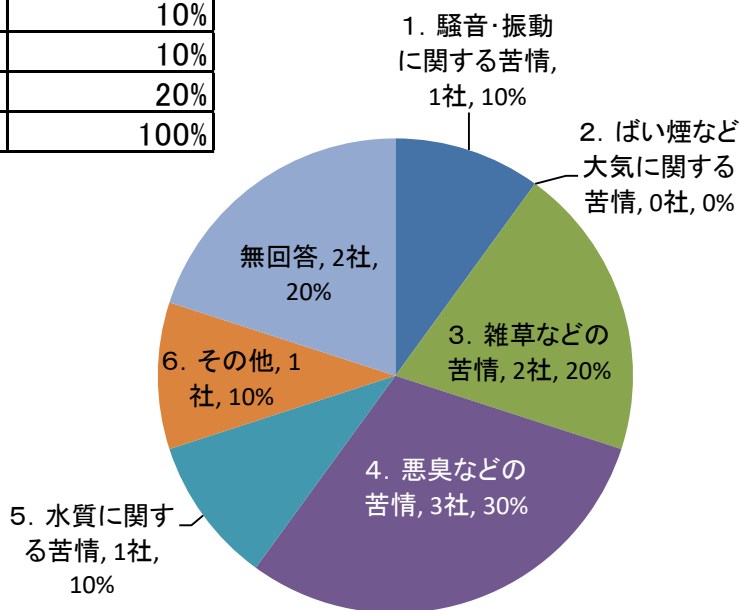
1. 苦情はない	137社	93%
2. 苦情は受けたが、解決済み	8社	5%
3. 苦情を受け、現在処理中	2社	1%
無回答	0社	0%
計	147社	100%



問2 - 7 問6で「苦情は受けたが、解決済み」、「苦情を受け、現在処理中」と回答した方に伺います。苦情を受けた内容はどのようなことですか。(あてはまるものに○)

・設問に対し、「悪臭などの苦情」の回答が最も多く 30%という結果となりました。

1. 騒音・振動に関する苦情	1社	10%
2. ばい煙など大気に関する苦情	0社	0%
3. 雑草などの苦情	2社	20%
4. 悪臭などの苦情	3社	30%
5. 水質に関する苦情	1社	10%
6. その他	1社	10%
無回答	2社	20%
計	10社	100%

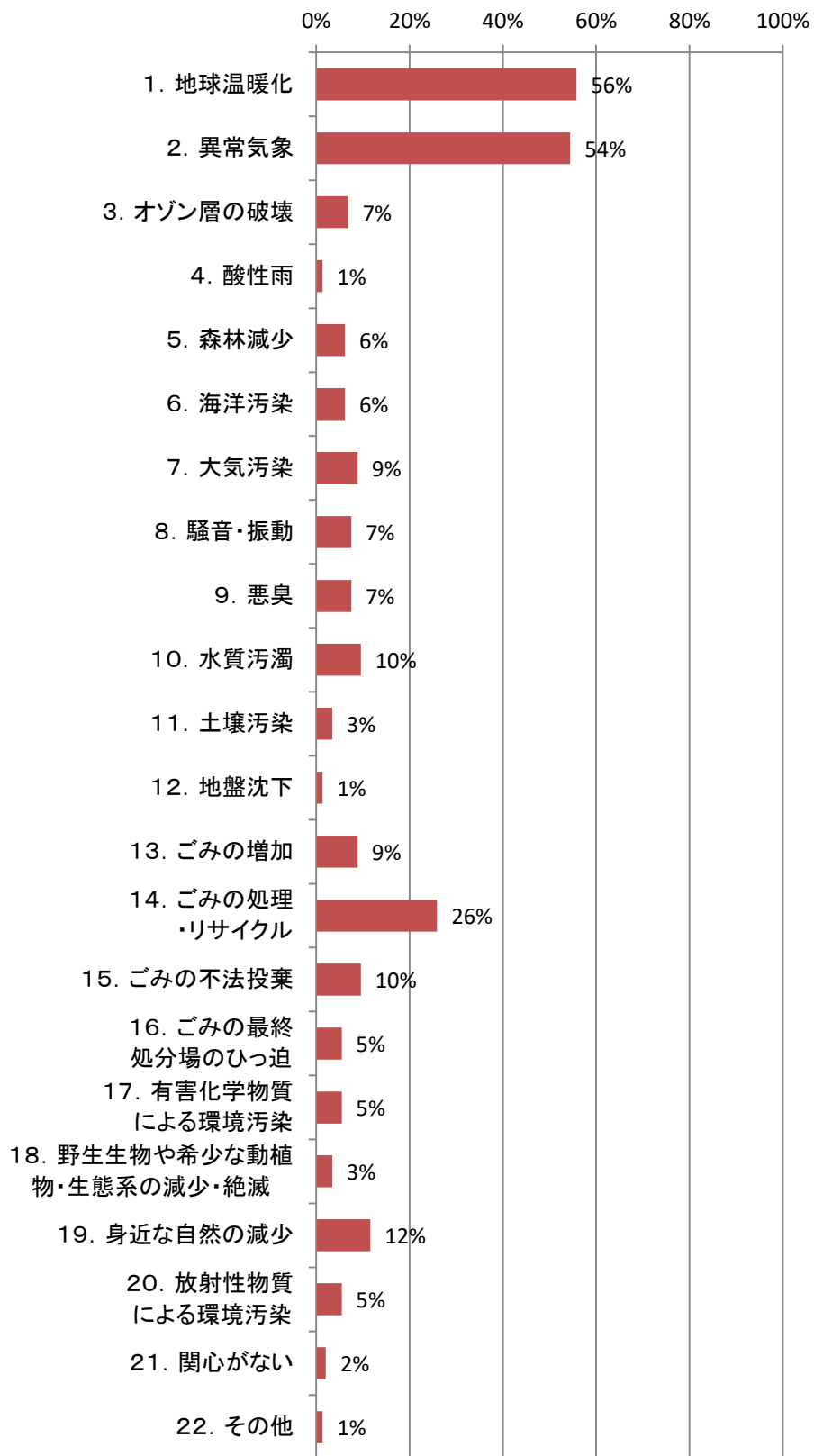


問2 - 8 貴事業所では、どのような環境問題に関心を持っていますか。

(あてはまるものなかで特に重要だと思うものを3つまで○)

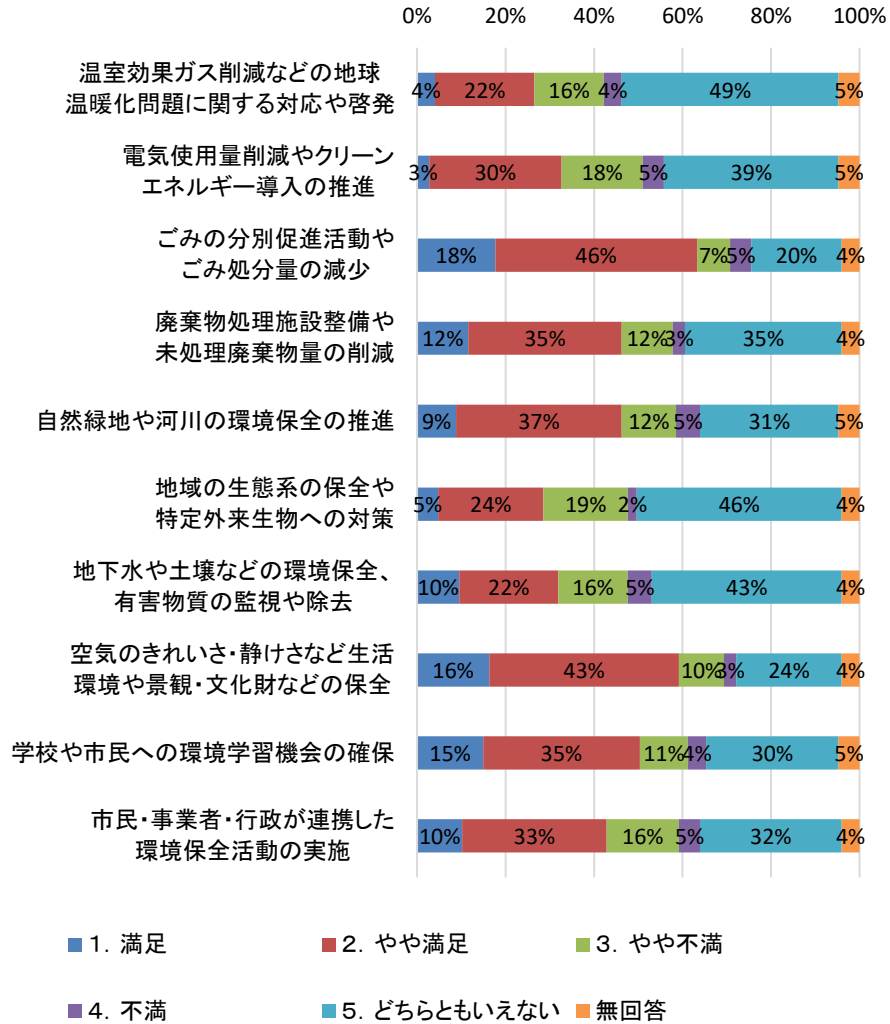
・設問に対し、「地球温暖化」の回答が最も多く 56%、次いで「異常気象」の回答が 54%という結果となりました。

1. 地球温暖化	82社	56%
2. 異常気象	80社	54%
3. オゾン層の破壊	10社	7%
4. 酸性雨	2社	1%
5. 森林減少	9社	6%
6. 海洋汚染	9社	6%
7. 大気汚染	13社	9%
8. 騒音・振動	11社	7%
9. 悪臭	11社	7%
10. 水質汚濁	14社	10%
11. 土壌汚染	5社	3%
12. 地盤沈下	2社	1%
13. ごみの増加	13社	9%
14. ごみの処理・リサイクル	38社	26%
15. ごみの不法投棄	14社	10%
16. ごみの最終処分場のひっ迫	8社	5%
17. 有害化学物質による環境汚染	8社	5%
18. 野生生物や希少な動植物・生態系の減少・絶滅	5社	3%
19. 身近な自然の減少	17社	12%
20. 放射性物質による環境汚染	8社	5%
21. 関心がない	3社	2%
22. その他	2社	1%



問2 - 9 深谷市の環境対策に関して、満足度をお答えください。

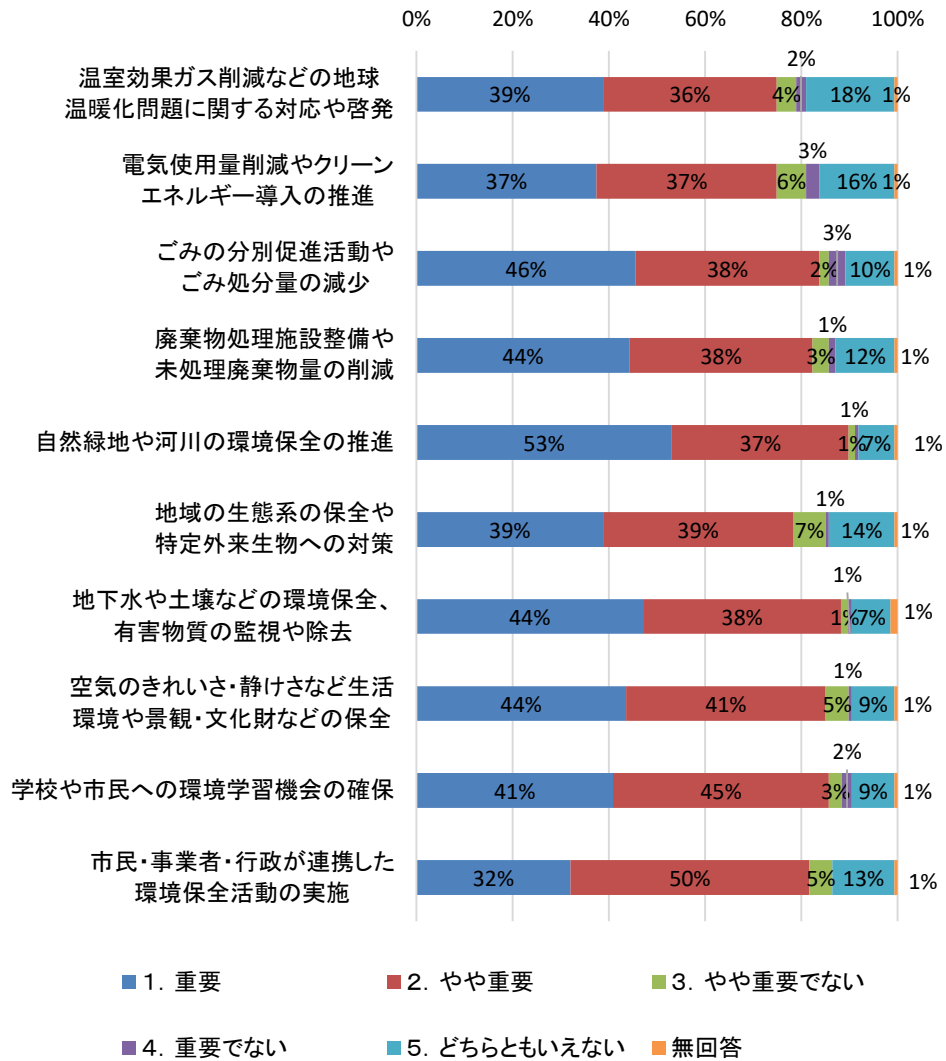
・設問に対し、「満足」、「やや満足」の合計が最も多いのは「資源の有効活用と廃棄物処分量の削減」で64%、次いで「心休まる環境の保全」が59%という結果となりました。



問2 - 10 深谷市の環境対策に関して、重要度をお答えください。

(それぞれの項目であてはまるもの1つに○)

・設問に対し、「重要」、「やや重要」の合計が最も多いのは「自然やみどりの環境の保全」で90%、次いで「安全な生活環境の保全」が82%という結果となりました。

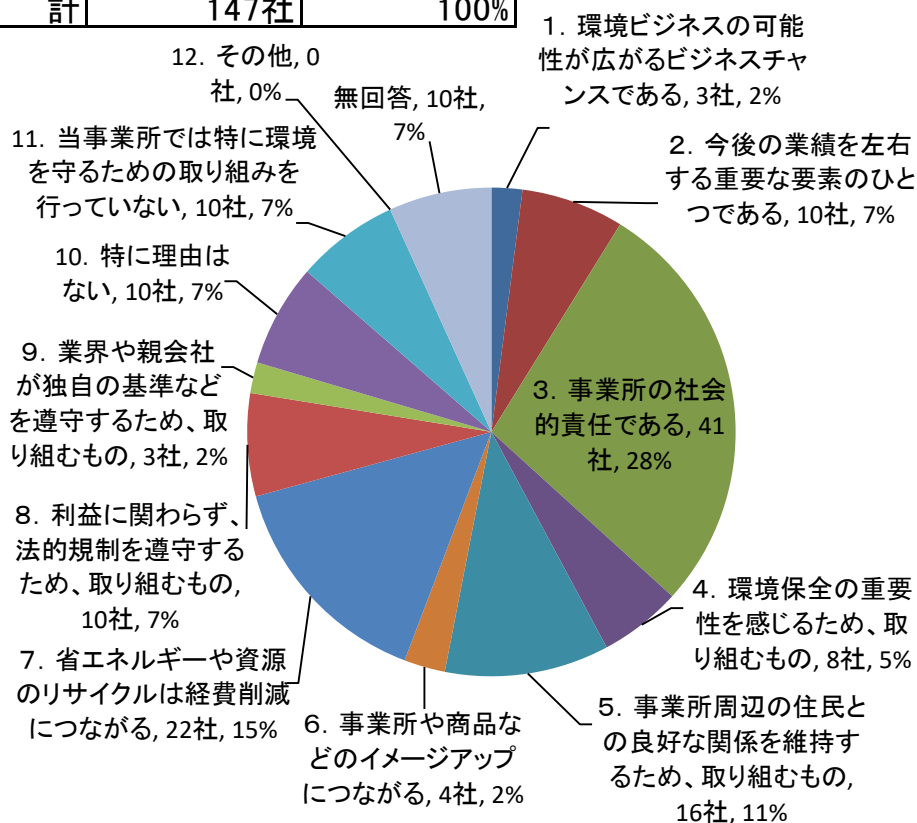


問2-11 貴事業所では、環境保全の取り組みについて、どのように思われていますか。

(あてはまるもの1つに○)

・設問に対し、「事業所の社会的責任である」の回答が最も多く28%、次いで「省エネルギーや資源のリサイクルは経費削減につながる」の回答が15%という結果となりました。

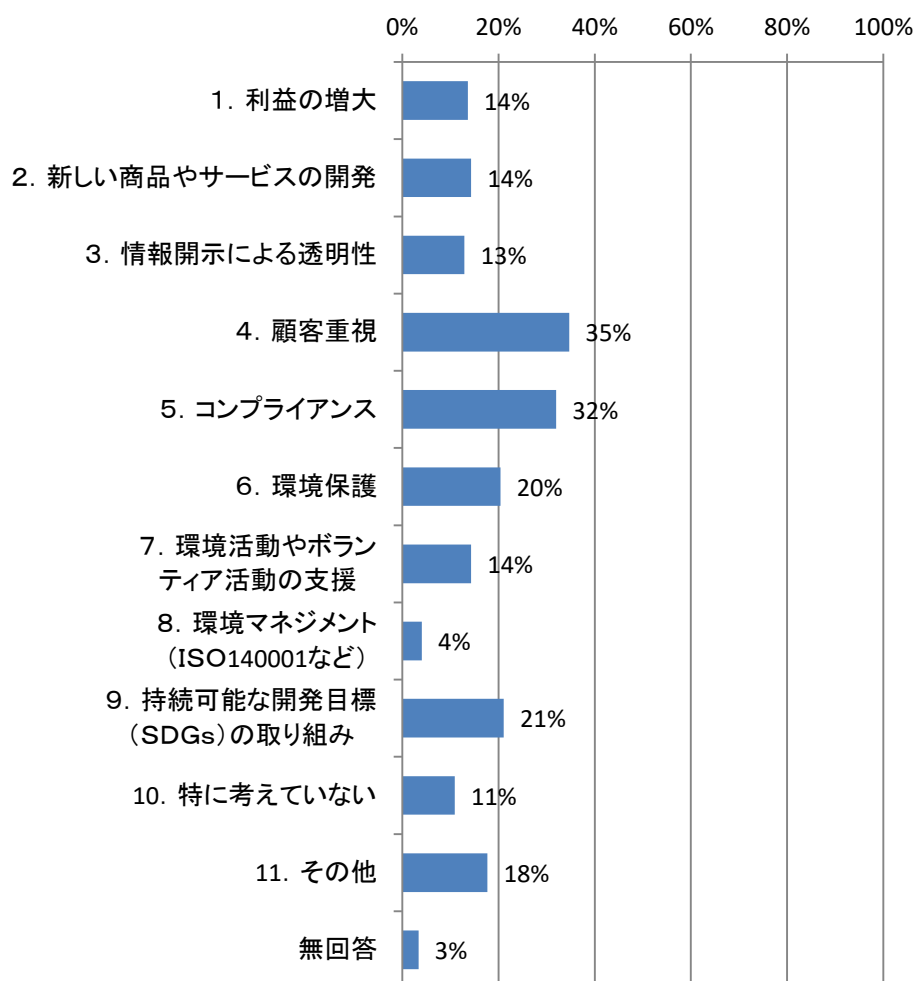
1. 環境ビジネスの可能性が広がるビジネスチャンスである	3社	2%
2. 今後の業績を左右する重要な要素のひとつである	10社	7%
3. 事業所の社会的責任である	41社	28%
4. 環境保全の重要性を感じるため、取り組むもの	8社	5%
5. 事業所周辺の住民との良好な関係を維持するため、取り組むもの	16社	11%
6. 事業所や商品などのイメージアップにつながる	4社	3%
7. 省エネルギーや資源のリサイクルは経費削減につながる	22社	15%
8. 利益に関わらず、法的規制を遵守するため、取り組むもの	10社	7%
9. 業界や親会社が独自の基準などを遵守するため、取り組むもの	3社	2%
10. 特に理由はない	10社	7%
11. 当事業所では特に環境を守るための取り組みを行っていない	10社	7%
12. その他	0社	0%
無回答	10社	7%
計	147社	100%



問2-12 貴事業所では、今後、企業が社会的信用を得るため、何に力を入れるべきだと考えますか。(あてはまるもののなかで特に重要だと思うものを3つまで○)

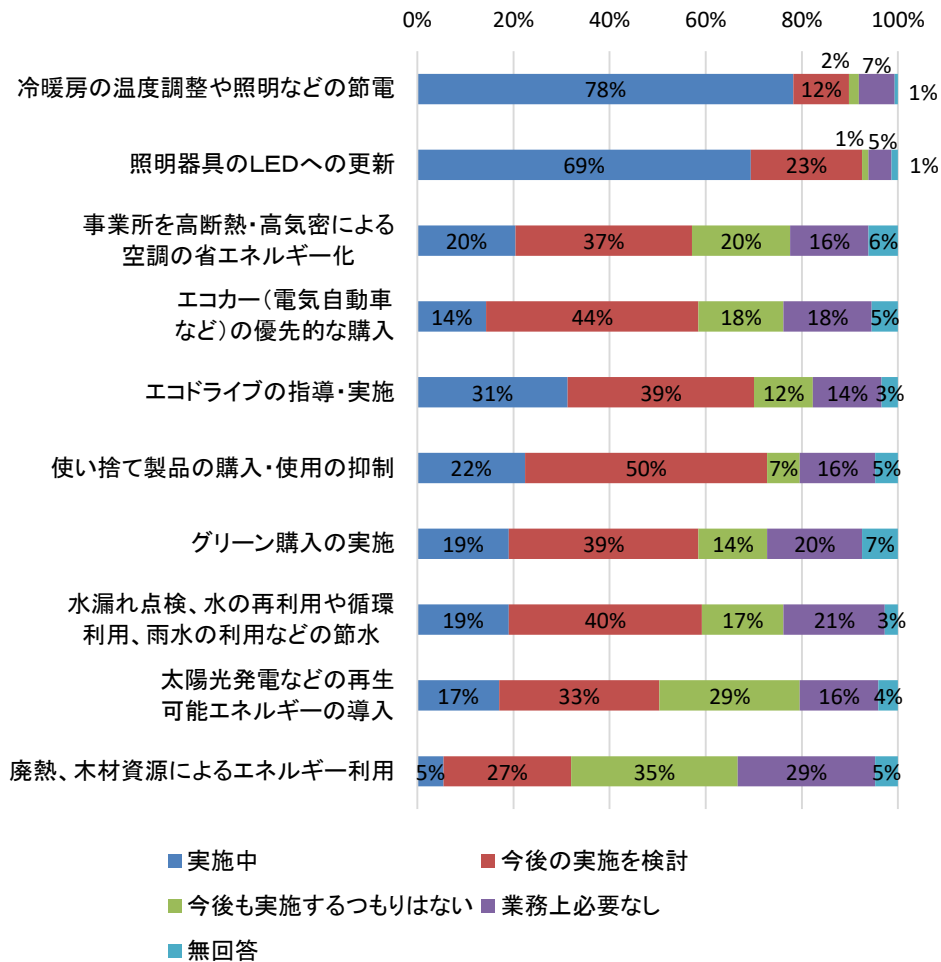
・設問に対し、「顧客重視」の回答が最も多く 35%、次いで「コンプライアンス」の回答が 32%という結果となりました。

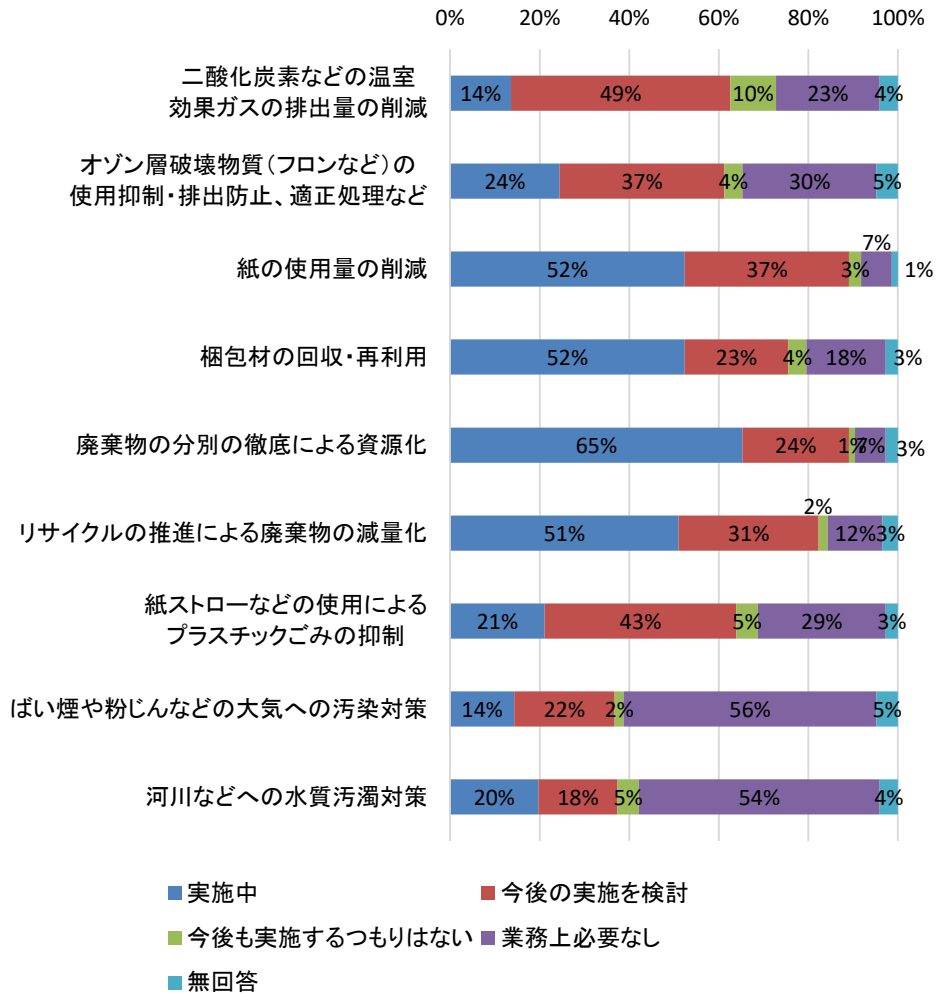
1. 利益の増大	20社	14%
2. 新しい商品やサービスの開発	21社	14%
3. 情報開示による透明性	19社	13%
4. 顧客重視	51社	35%
5. コンプライアンス	47社	32%
6. 環境保護	30社	20%
7. 環境活動やボランティア活動の支援	21社	14%
8. 環境マネジメント(ISO140001など)	6社	4%
9. 持続可能な開発目標(SDGs)の取り組み	31社	21%
10. 特に考えていない	16社	11%
11. その他	26社	18%
無回答	5社	3%
計	293社	199%



問2 - 13 貴事業所では、次のような環境保全の取り組みを実施していますか。あるいは、今後、実施しようと考えていますか。(それぞれの項目であてはまるもの1つに○)

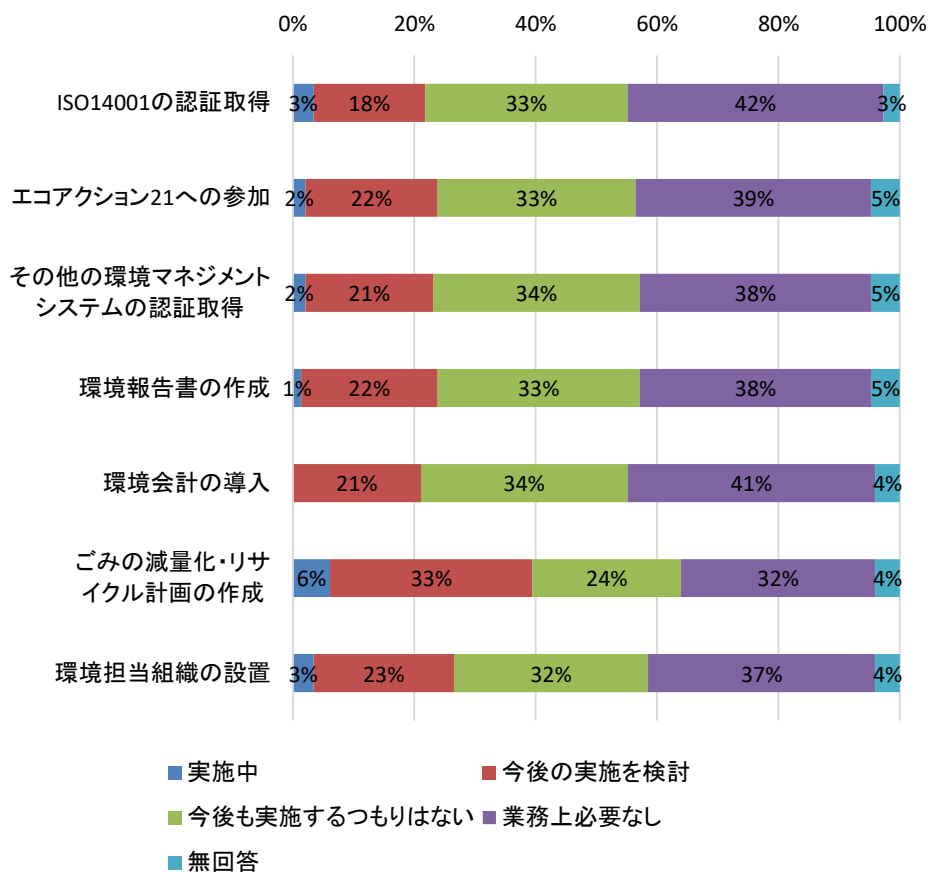
・設問に対し、「実施中」が最も多いのは「冷暖房の温度調整や照明などの節電」で78%、次いで「照明器具のLEDへの更新」が69%という結果となりました。





問2-14 貴事業所では、次のような環境管理に関する取り組みを実施していますか。あるいは、今後、実施しようと考えていますか。(それぞれの項目であてはまるもの1つに○)

・設問に対し、「実施中」が最も多いのは「ごみの減量化・リサイクル計画の作成」で6%、次いで「ISO14001の認証取得」、「環境担当組織の設置」が3%という結果となりました。

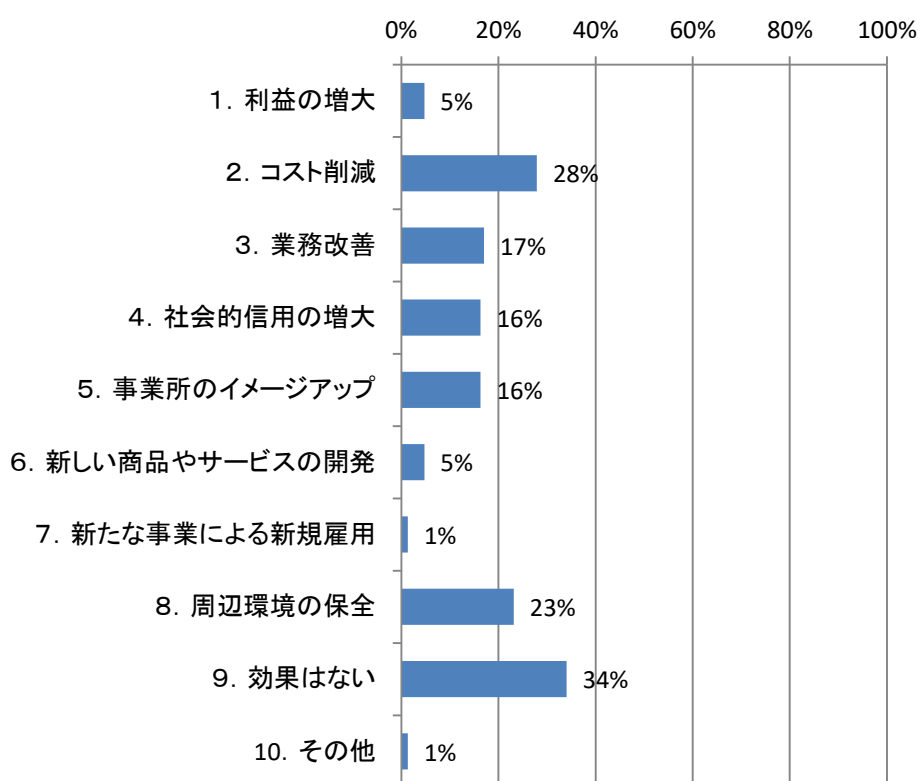


問2 - 15 貴事業所では、環境に関する取り組みによって何か効果はありましたか。

(あてはまるもののなかで特に効果のあったものを3つまで○)

・設問に対し、「効果はない」の回答が最も多く 34%、次いで「コスト削減」の回答が 28%という結果となりました。

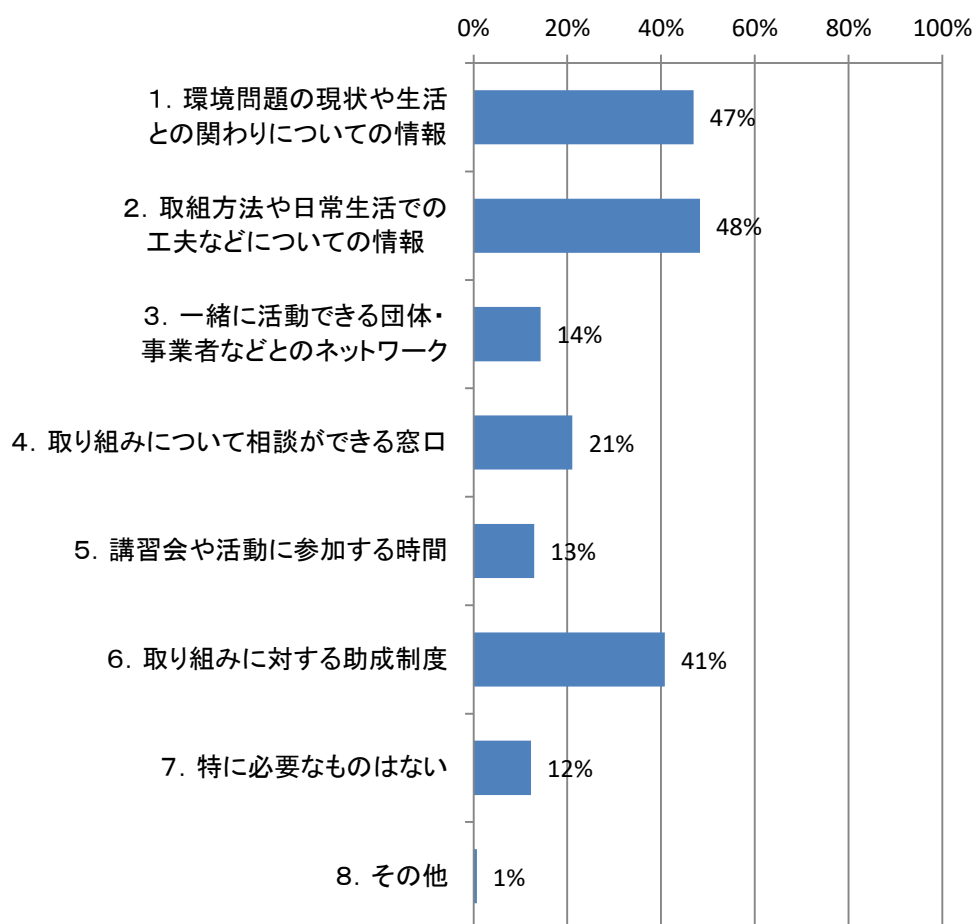
1. 利益の増大	7社	5%
2. コスト削減	41社	28%
3. 業務改善	25社	17%
4. 社会的信用の増大	24社	16%
5. 事業所のイメージアップ	24社	16%
6. 新しい商品やサービスの開発	7社	5%
7. 新たな事業による新規雇用	2社	1%
8. 周辺環境の保全	34社	23%
9. 効果はない	50社	34%
10. その他	2社	1%
計	216社	147%



問2 - 16 貴事業所は、環境を守るための取り組みを進めるうえで、何が必要だと思いますか。(特に必要だと思うものを3つまで○)

・設問に対し、「取組方法や日常生活での工夫などについての情報」の回答が最も多く48%、次いで「環境問題の現状や生活との関わりについての情報」の回答が47%という結果となりました。

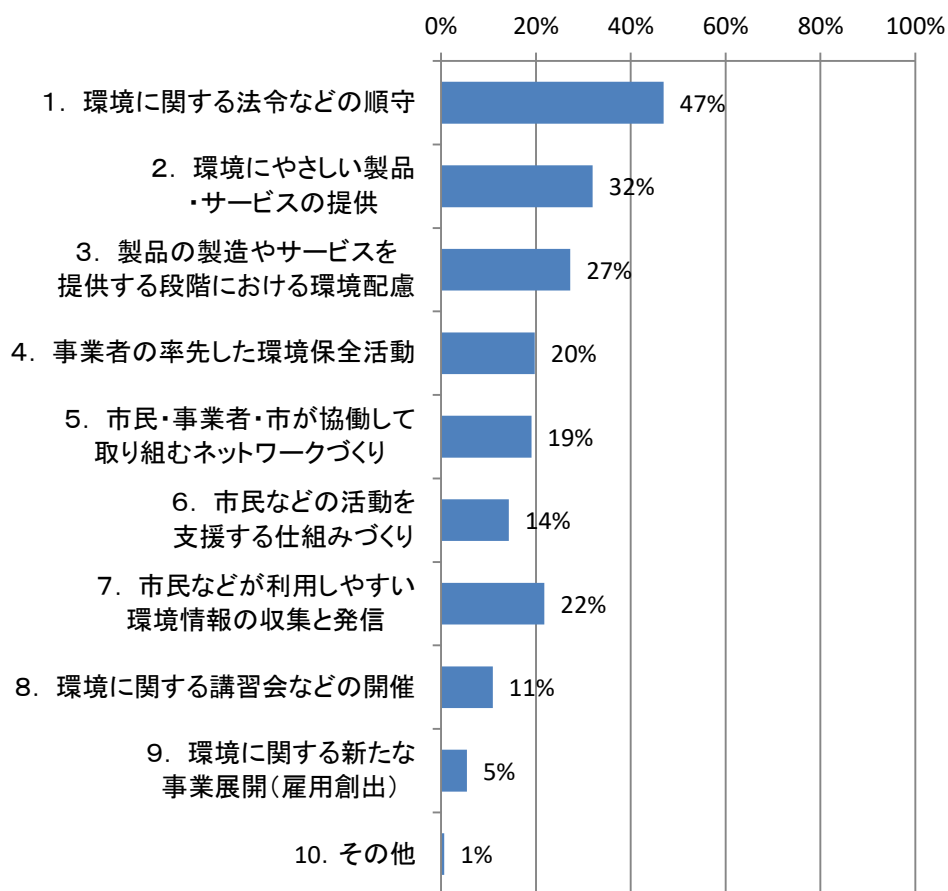
1. 環境問題の現状や生活との関わりについての情報	69社	47%
2. 取組方法や日常生活での工夫などについての情報	71社	48%
3. 一緒に活動できる団体・事業者などとのネットワーク	21社	14%
4. 取り組みについて相談ができる窓口	31社	21%
5. 講習会や活動に参加する時間	19社	13%
6. 取り組みに対する助成制度	60社	41%
7. 特に必要なものはない	18社	12%
8. その他	1社	1%
計	295社	201%



問2 - 17 今後、環境に関する取り組みを推進するうえで、事業者の役割として何が重要だと思いますか。(特に重要だと思うものを3つまで○)

・設問に対し、「環境に関する法令などの順守」の回答が最も多く47%、次いで「環境にやさしい製品・サービスの提供」の回答が32%という結果となりました。

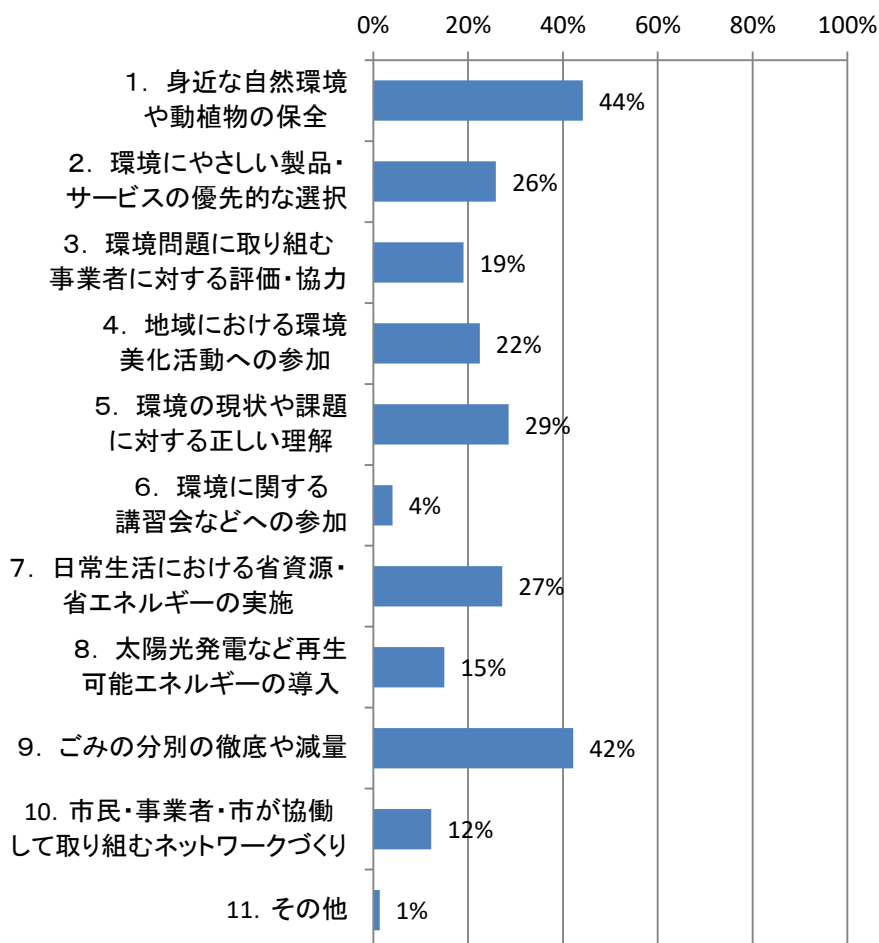
1. 環境に関する法令などの順守	69社	47%
2. 環境にやさしい製品・サービスの提供	47社	32%
3. 製品の製造やサービスを提供する段階における環境配慮	40社	27%
4. 事業者の率先した環境保全活動	29社	20%
5. 市民・事業者・市が協働して取り組むネットワークづくり	28社	19%
6. 市民などの活動を支援する仕組みづくり	21社	14%
7. 市民などが利用しやすい環境情報の収集と発信	32社	22%
8. 環境に関する講習会などの開催	16社	11%
9. 環境に関する新たな事業展開(雇用創出)	8社	5%
10. その他	1社	1%
計	301社	205%



問2 - 18 今後、環境に関する取り組みを推進するうえで、市民の役割として何を期待しますか。(特に期待するものを3つまで○)

・設問に対し、「身近な自然環境や動植物の保全」の回答が最も多く44%、次いで「ごみの分別の徹底や減量」の回答が42%という結果となりました。

1. 身近な自然環境や動植物の保全	65社	44%
2. 環境にやさしい製品・サービスの優先的な選択	38社	26%
3. 環境問題に取り組む事業者に対する評価・協力	28社	19%
4. 地域における環境美化活動への参加	33社	22%
5. 環境の現状や課題に対する正しい理解	42社	29%
6. 環境に関する講習会などへの参加	6社	4%
7. 日常生活における省資源・省エネルギーの実施	40社	27%
8. 太陽光発電など再生可能エネルギーの導入	22社	15%
9. ごみの分別の徹底や減量	62社	42%
10. 市民・事業者・市が協働して取り組むネットワークづくり	18社	12%
11. その他	2社	1%
計	358社	244%

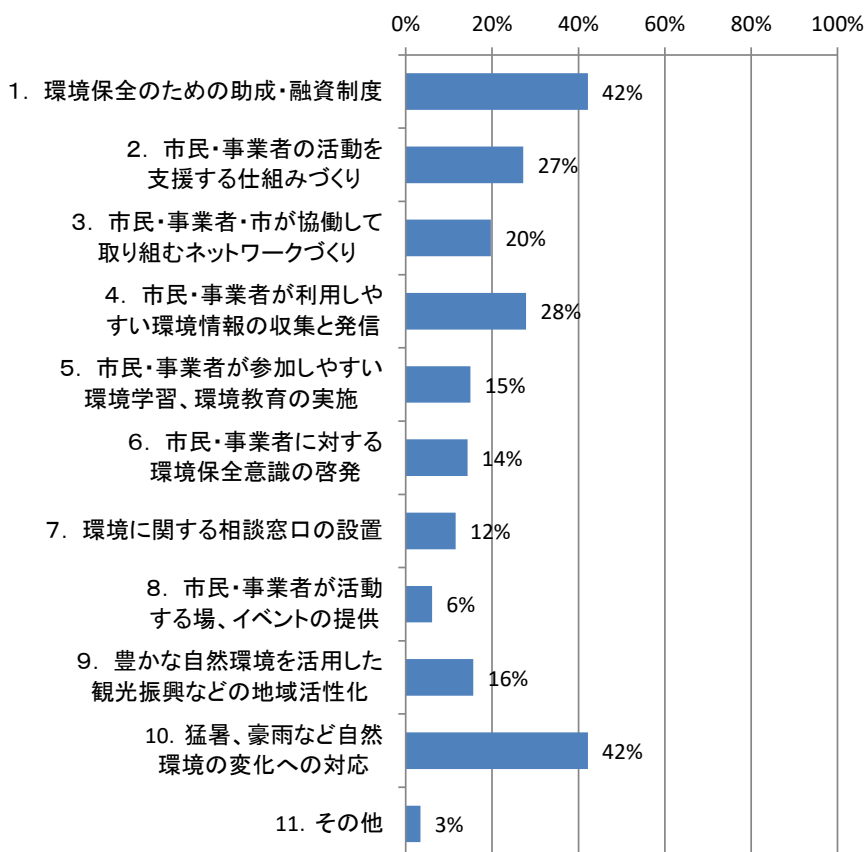


問2 - 19 今後、環境を守るための取り組みを推進するうえで、深谷市の役割として

何を期待しますか。(特に期待するものを3つまで○)

・設問に対し、「環境保全のための助成・融資制度」、「猛暑、豪雨など自然環境の変化への対応」の回答が最も多く42%、次いで「市民・事業者が利用しやすい環境情報の収集と発信」の回答が28%という結果となりました。

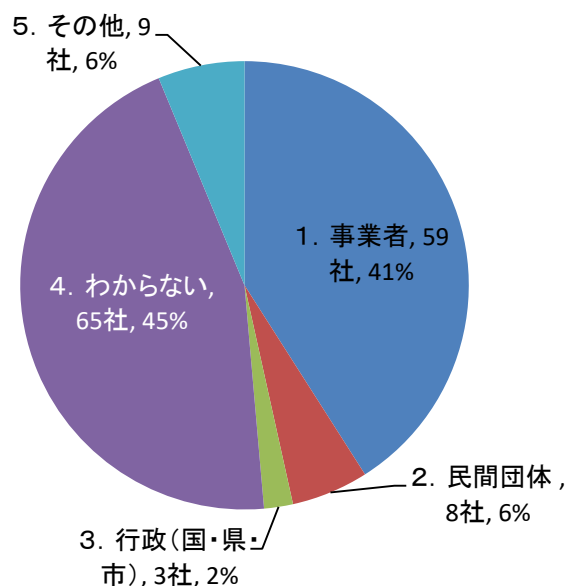
1. 環境保全のための助成・融資制度	62社	42%
2. 市民・事業者の活動を支援する仕組みづくり	40社	27%
3. 市民・事業者・市が協働して取り組むネットワークづくり	29社	20%
4. 市民・事業者が利用しやすい環境情報の収集と発信	41社	28%
5. 市民・事業者が参加しやすい環境学習、環境教育の実施	22社	15%
6. 市民・事業者に対する環境保全意識の啓発	21社	14%
7. 環境に関する相談窓口の設置	17社	12%
8. 市民・事業者が活動する場、イベントの提供	9社	6%
9. 豊かな自然環境を活用した観光振興などの地域活性化	23社	16%
10. 猛暑、豪雨など自然環境の変化への対応	62社	42%
11. その他	5社	3%
計	338社	230%



問2 - 20 今後、環境を守るための取り組みを推進するうえで、最も重要な役割を担うのは、次のうちどれだと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

・設問に対し、「わからない」の回答が最も多く44%、次いで「事業者」の回答が40%という結果となりました。

1. 事業者	59社	40%
2. 民間団体	8社	5%
3. 行政(国・県・市)	3社	2%
4. わからない	65社	44%
5. その他	9社	6%
無回答	3社	2%
計	147社	100%



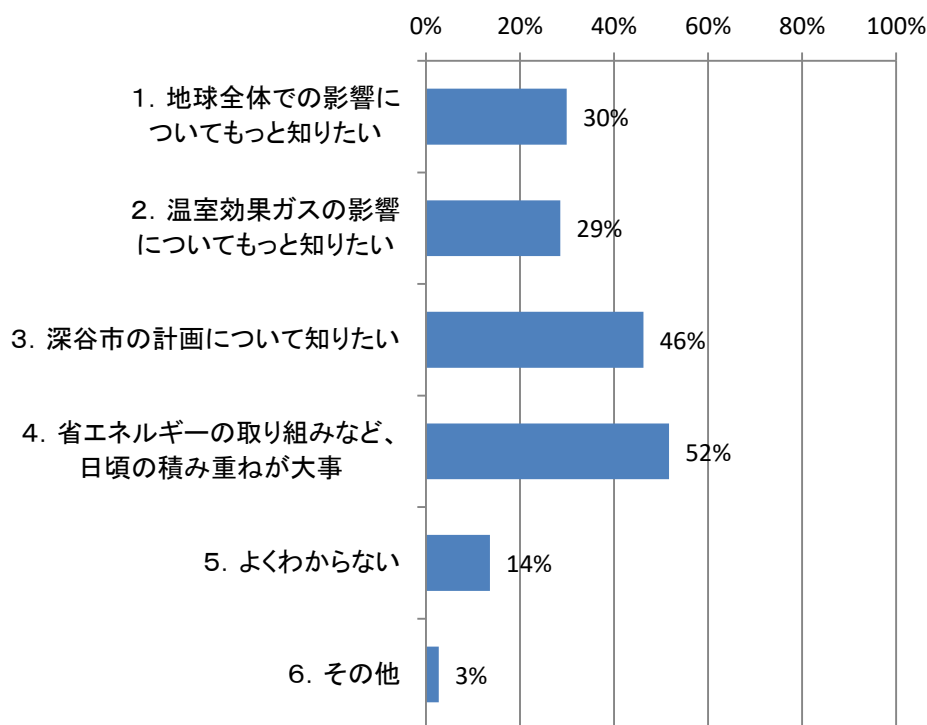
(2) 地球温暖化について

問3-21 温室効果ガス（二酸化炭素など）の排出による地球温暖化問題について、

どのように思われていますか。（あてはまるを3つまで○）

・設問に対し、「省エネルギーの取り組みなど、日頃の積み重ねが大事」回答が最も多く52%、次いで「深谷市の計画について知りたい」という結果となりました。

1. 地球全体での影響についてもっと知りたい	44社	30%
2. 温室効果ガスの影響についてもっと知りたい	42社	29%
3. 深谷市の計画について知りたい	68社	46%
4. 省エネルギーの取り組みなど、日頃の積み重ねが大事	76社	52%
5. よくわからない	20社	14%
6. その他	4社	3%
計	254社	173%

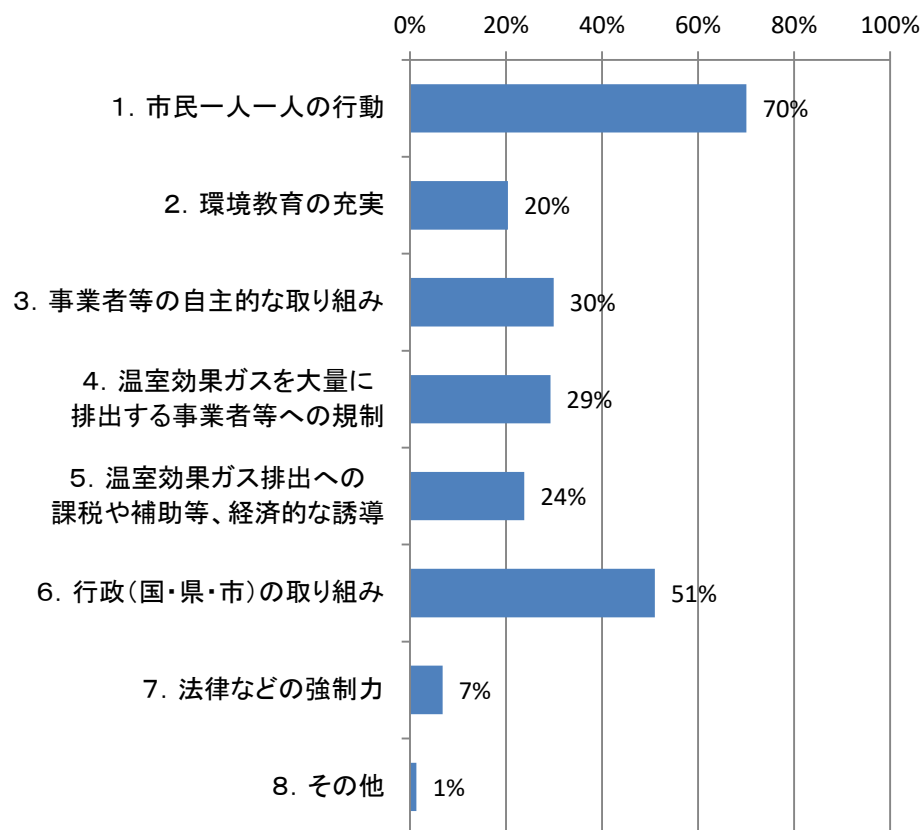


問3 - 2 2 温室効果ガス排出量の削減を進めるための取り組みとして有効と考えること

は何ですか。(あてはまるものを3つまで○)

・設問に対し、「市民一人一人の行動」の回答が最も多く70%、次いで「行政(国・県・市)の取り組み」の回答が51%という結果となりました。

1. 市民一人一人の行動	103社	70%
2. 環境教育の充実	30社	20%
3. 事業者等の自主的な取り組み	44社	30%
4. 温室効果ガスを大量に排出する事業者等への規制	43社	29%
5. 温室効果ガス排出への課税や補助等、経済的な誘導	35社	24%
6. 行政(国・県・市)の取り組み	75社	51%
7. 法律などの強制力	10社	7%
8. その他	2社	1%
計	342社	233%

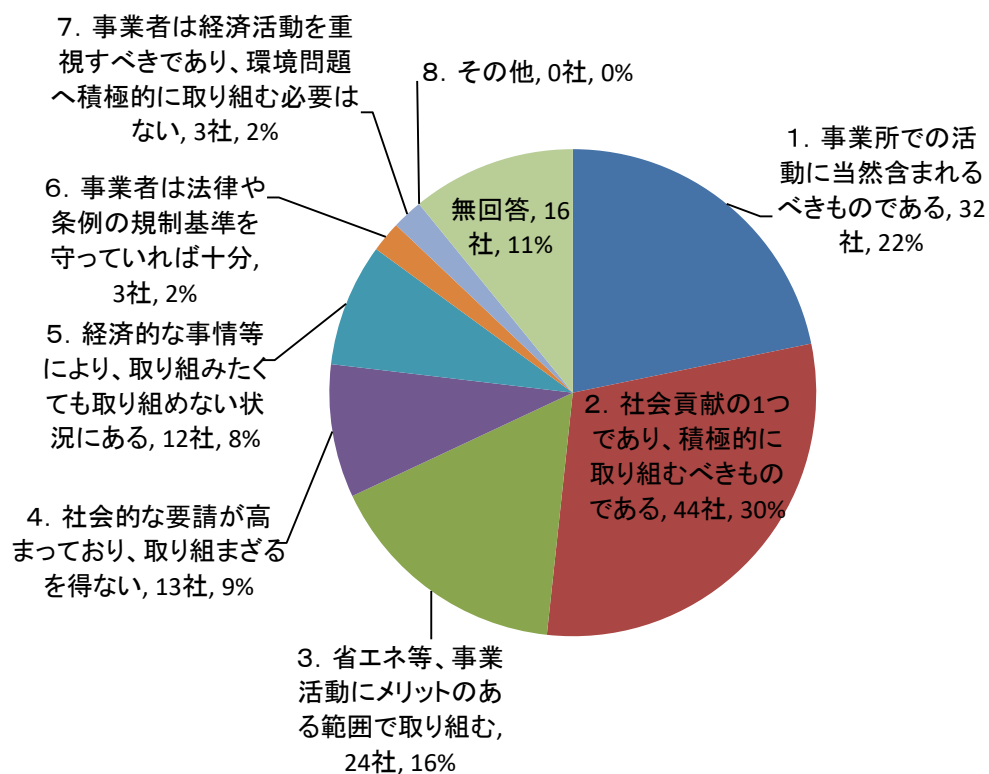


問3 - 23 事業所での地球温暖化問題への取組についてどのようにお考えですか。

(あてはまるもの1つに○)

・設問に対し、「社会貢献の1つであり、積極的に取り組むべきものである」の回答が最も多く30%、次いで「事業所での活動に当然含まれるべきものである」の回答が22%という結果となりました。

1. 事業所での活動に当然含まれるべきものである	32社	22%
2. 社会貢献の1つであり、積極的に取り組むべきものである	44社	30%
3. 省エネ等、事業活動にメリットのある範囲で取り組む	24社	16%
4. 社会的な要請が高まっており、取り組まざるを得ない	13社	9%
5. 経済的な事情等により、取り組みたくても取り組めない状況に	12社	8%
6. 事業者は法律や条例の規制基準を守っていれば十分	3社	2%
7. 事業者は経済活動を重視すべきであり、環境問題へ積極的に取り組む必要はない	3社	2%
8. その他	0社	0%
無回答	16社	11%
計	147社	100%

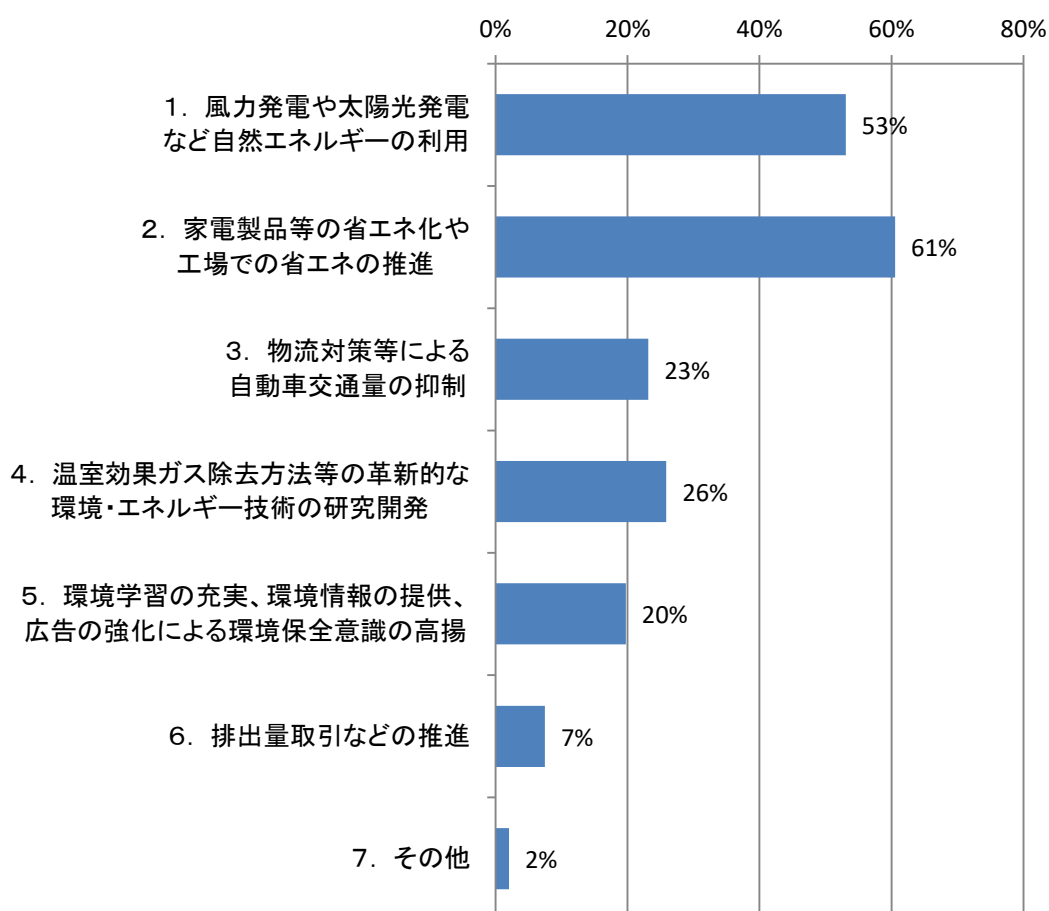


問3-24 事業所において、温室効果ガス排出量の削減を進めるに当たり必要と考える

取組をお答えください。(特に必要だと考えるものを3つまで○)

・設問に対し、「家電製品等の省エネ化や工場での省エネの推進」の回答が最も多く61%、次いで「風力発電や太陽光発電など自然エネルギーの利用」の回答が53%という結果となりました。

1. 風力発電や太陽光発電など自然エネルギーの利用	78社	53%
2. 家電製品等の省エネ化や工場での省エネの推進	89社	61%
3. 物流対策等による自動車交通量の抑制	34社	23%
4. 温室効果ガス除去方法等の革新的な環境・エネルギー技術の研究開発	38社	26%
5. 環境学習の充実、環境情報の提供、広告の強化による環境保全意識の高揚	29社	20%
6. 排出量取引などの推進	11社	7%
7. その他	3社	2%
	282社	192%

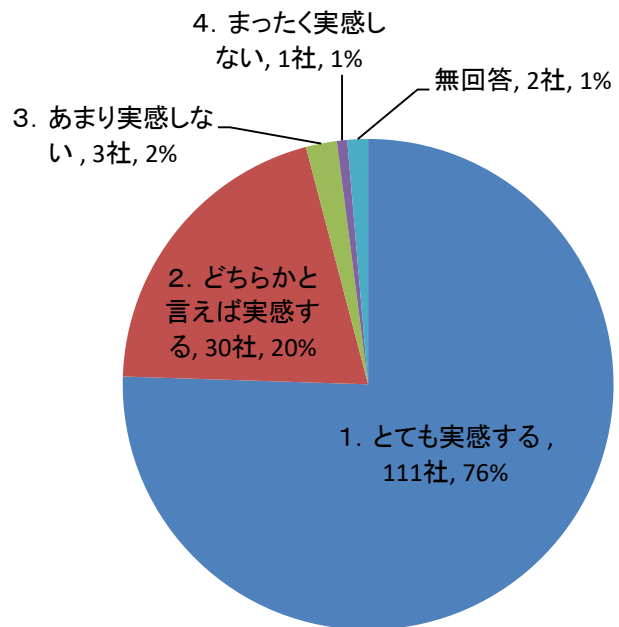


(3) 気候変動問題について

問4 - 25 近年、地球温暖化の影響に伴い、猛暑日や大雨の頻度の増加など、気象及び気候の極端な現象の発生頻度が高まっています。気候変動の影響を実感することはありますか。

・設問に対し、「とても実感する」の回答が最も多く76%、次いで「どちらかと言えば実感する」の回答が20%という結果となりました。

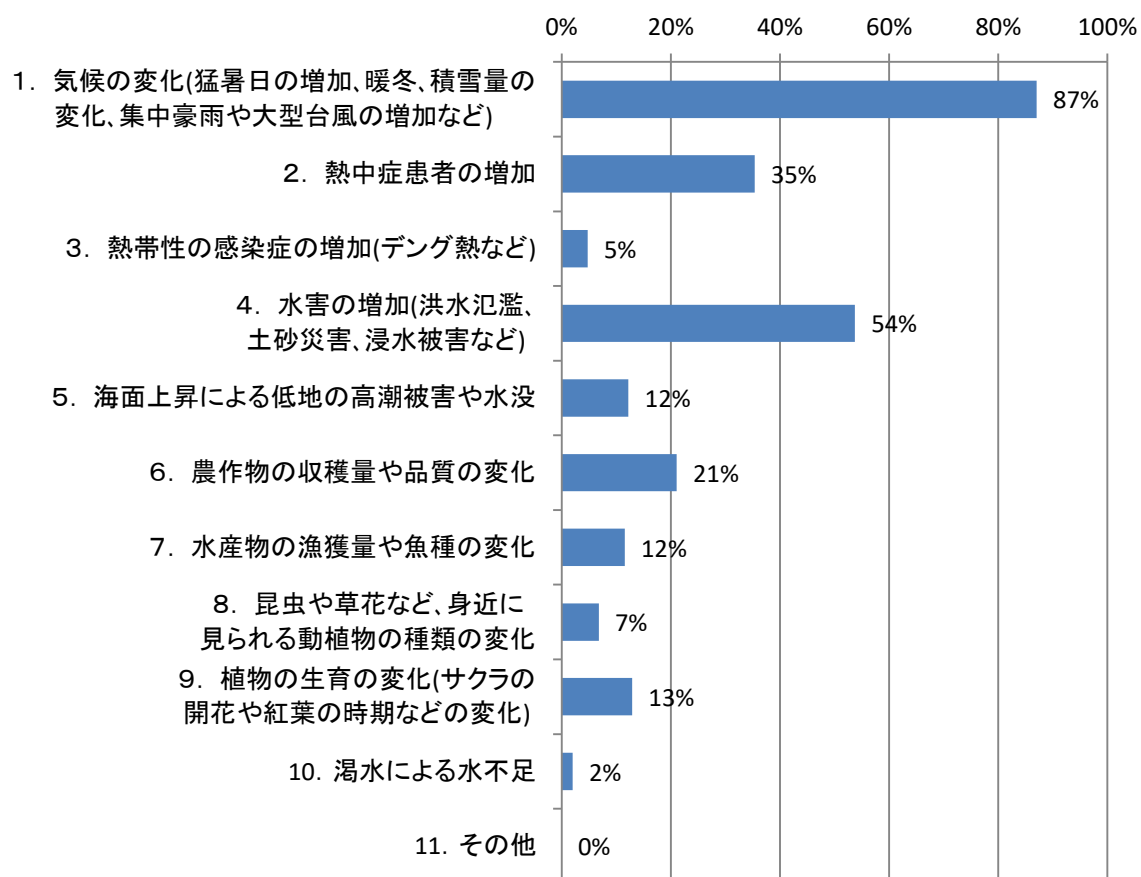
1. とても実感する	111社	76%
2. どちらかと言えば実感する	30社	20%
3. あまり実感しない	3社	2%
4. まったく実感しない	1社	1%
無回答	2社	1%
計	147社	100%



問4 - 26 問25で気候変動の影響をとて実感する、どちらかと言えば実感すると思うと回答した方にお聞きします。どのような気候変動の影響を実感していますか。(特に実感するものを3つまで○)
(実際にご自身が体験したことだけでなく、間接的に耳にしたものを含みます。)

・設問に対し、「気候の変化」の回答が最も多く76%、次いで「水害の増加」の回答が54%という結果となりました。

1. 気候の変化(猛暑日の増加、暖冬、積雪量の変化、集中豪雨や大型台風の増加など)	128社	87%
2. 熱中症患者の増加	52社	35%
3. 熱帯性の感染症の増加(デング熱など)	7社	5%
4. 水害の増加(洪水氾濫、土砂災害、浸水被害など)	79社	54%
5. 海面上昇による低地の高潮被害や水没	18社	12%
6. 農作物の収穫量や品質の変化	31社	21%
7. 水産物の漁獲量や魚種の変化	17社	12%
8. 昆虫や草花など、身近に見られる動植物の種類の変化	10社	7%
9. 植物の生育の変化(サクラの開花や紅葉の時期などの変化)	19社	13%
10. 渇水による水不足	3社	2%
11. その他	0社	0%
計	364社	248%
回答人数	971社	254%

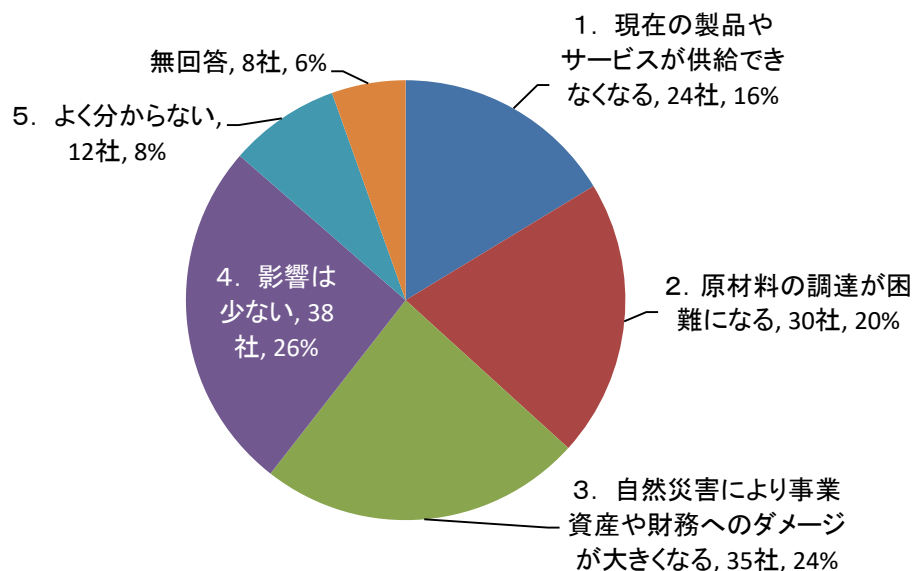


問4 - 27 気候変動による貴事業所に対する最大のリスクは何ですか。

(あてはまるもの1つに○)

・設問に対し、「影響は少ない」の回答が最も多く26%、次いで「自然災害により事業資産や財務へのダメージが大きくなる」の回答が24%という結果となりました。

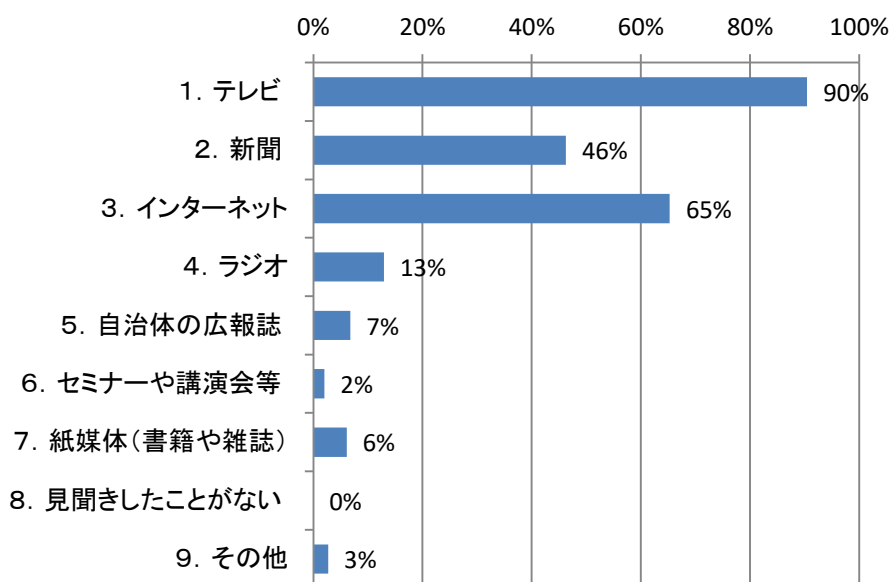
1. 現在の製品やサービスが供給できなくなる	24社	16%
2. 原材料の調達が困難になる	30社	20%
3. 自然災害により事業資産や財務へのダメージが大きくなる	35社	24%
4. 影響は少ない	38社	26%
5. よく分からない	12社	8%
無回答	8社	5%
計	147社	100%



問4 - 28 地球温暖化に伴う影響(気候変動等)に関する情報について、どの媒体からの情報をよく見聞きしますか。(特に見聞きするものを3つまで○)

・設問に対し、「テレビ」の回答が最も多く 90%、次いで「インターネット」の回答が 65%という結果となりました。

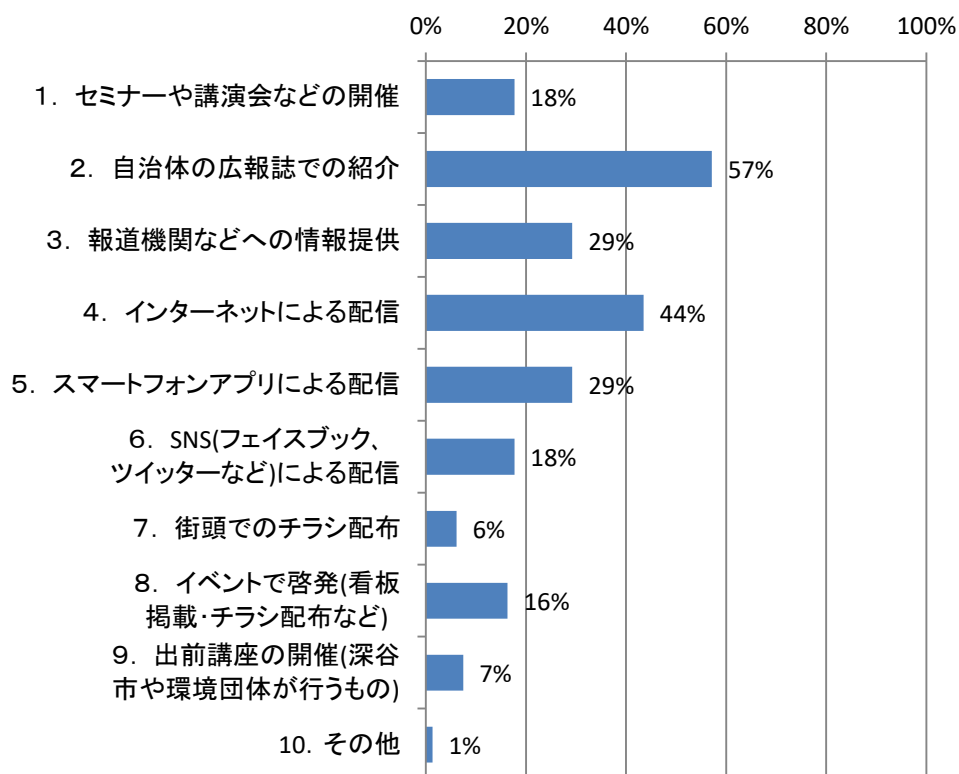
1. テレビ	133社	90%
2. 新聞	68社	46%
3. インターネット	96社	65%
4. ラジオ	19社	13%
5. 自治体の広報誌	10社	7%
6. セミナーや講演会等	3社	2%
7. 紙媒体(書籍や雑誌)	9社	6%
8. 見聞きしたことがない	0社	0%
9. その他	4社	3%
計	342社	233%



問4 - 29 今後、深谷市が、気候変動に伴う影響に関する情報を広報・発信するために、
 どのような手段が効果的だと考えられますか。(特に効果的だと思うもの3つまで○)

・設問に対し、「自治体の広報誌での紹介」の回答が最も多く57%、次いで「インターネットによる配信」の回答が44%という結果となりました。

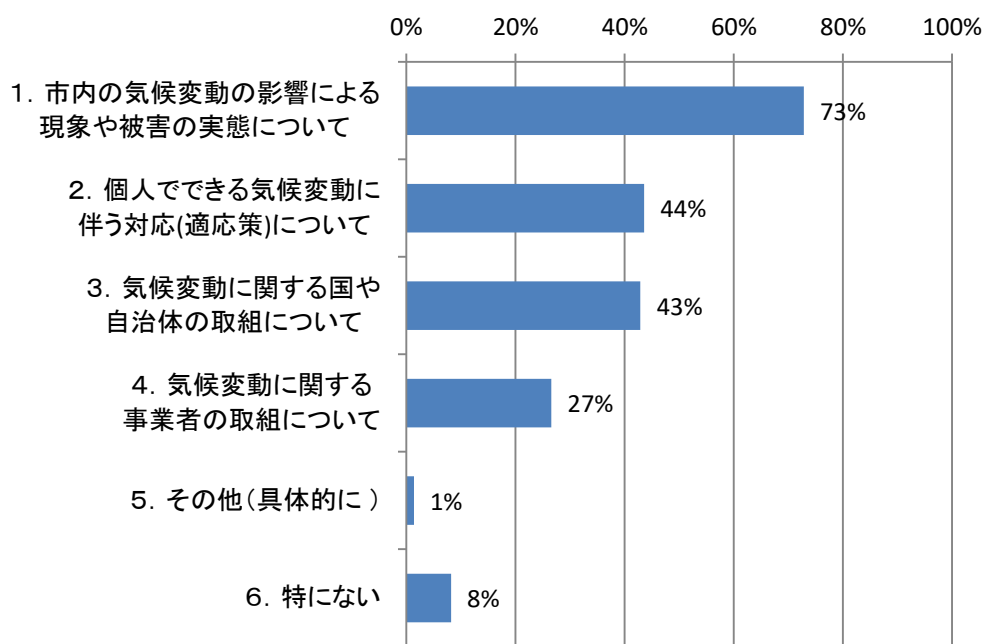
1. セミナーや講演会などの開催	26社	18%
2. 自治体の広報誌での紹介	84社	57%
3. 報道機関などへの情報提供	43社	29%
4. インターネットによる配信	64社	44%
5. スマートフォンアプリによる配信	43社	29%
6. SNS(フェイスブック、ツイッターなど)による配信	26社	18%
7. 街頭でのチラシ配布	9社	6%
8. イベントで啓発(看板掲載・チラシ配布など)	24社	16%
9. 出前講座の開催(深谷市や環境団体が行うもの)	11社	7%
10. その他	2社	1%
計	337社	3%



問4 - 30 貴事業所は深谷市が発信する気候変動に関する情報の内容として、どのような情報を知りたいと思いますか。(あてはまるもの3つまで○)

・設問に対し、「市内の気候変動の影響による現象や被害の実態について」の回答が最も多く73%、次いで「個人でできる気候変動に伴う対応(適応策)について」の回答が44%という結果となりました。

1. 市内の気候変動の影響による現象や被害の実態について	107社	73%
2. 個人でできる気候変動に伴う対応(適応策)について	64社	44%
3. 気候変動に関する国や自治体の取組について	63社	43%
4. 気候変動に関する事業者の取組について	39社	27%
5. その他(具体的に)	2社	1%
6. 特にない	12社	8%
計	287社	195%



3 自由意見

1	・LED化等の施設展開中ではありますが、行政からの、多少の補助金を頂ければありがたいと考えます。現在推進中！！
2	・同系列の設問が多すぎる感有り。
3	1. 私達家族は49年前に神奈川県川崎から引越して来て、家、唐沢川の横土手側に持家で住んでいます。感謝（49年前からの環境変化として）当時は土手にかかる全ての橋の構造が悪く大雨が降ると、大量のゴミや木材が橋のまん中の柱に引っかかりせき止め水があふれて、土手が一部分決壊し、2回深谷商業高にお世話になりました。その後、橋が改善され、橋のまん中の柱が無くなり、想定以上の雨が降っても、土手を乗り越えて水はあふれてきません。“安心”。その後、夜逃げ、避難も少なくなってきました。感謝。2. 不便。私も高齢の為（80才）車運転危険。買物遠く店迄タクシー生活大変、一人暮らし者宅へ訪問、おうかがい、安否確認、制度の様な環境もほしいものです。環境は環境でも暮らし環境の改善がほしいものですね。3. 深谷はさみしい。今や深谷駅を通過の渋沢栄一さんの記念館観光客が多く、帰る時の感想は深谷の町ってこんなに寂しい町なのですね。期待外れ土産物の店も無い。深っかちゃんだけが笑顔で回転している。栄一さんの銅像も目立たない町の本気度を感じられません。残念と言って帰って行くお客さん多い。4. 色々書いてすみません。
4	アライグマハクビシンの生体増加による環境被害。ふん、尿悪臭等。
5	このようなアンケートは、年末や年始や決算期等はずして欲しい。
6	この様なアンケートの回答もペーパーレスにして市のHPやメールによるオンラインで実施すれば紙を使わなくてよいのでは？
7	環境美化や住環境等の改良等は促進すべきと思うが、温暖化については特に動かず様子見しているが良い。反転する可能性あり。
8	県北地圧で、EVやFCEVなどを導入している事業所や、行政機関がありません。水素ステーション、充電スタンドの早期設置を希望します。特にFCEVに関しては、お客様の関心も高く、深谷市のリーダーシップを期待します。
9	個人としては、市民一人一人が出来る事をする事が大切だと思います。事業として考えると、売り上げが減少する恐れがあるので、極端に環境が重視されるのは、賛成できない。
10	最近の戸建住宅の建設現場を見ているととても緑が1つも無い（駐車場だけ）住宅が多い。せめて木1本だけでも植えて欲しいと思う。
11	仕事から環境問題には関心が有ります。温暖化により真夏の対応の仕方や苦心しています。外仕事のため従業員も長続きせず大変です。経済的にも大変です。でも、緑の仕事ですので切れる事はないのですが、毎日、なやみます。市としても宜しくおねがいします。
12	市街地に街路樹が少ない。
13	市民個人：家族（家庭）の自覚と決意に基づく行動。
14	事業所前の市道が凹んでいて降雨後大きな水溜りが出来て難儀している。
15	深谷市のゴミ収集が毎日行われている事は素晴らしいと思います。街がきれいな状態を保っています。CO2削減が課題とされていますが、その為に森林を伐採し太陽光発電をしたり、と

	<p>いう事は本末転倒と感じます。CO₂を削減する事も大切ですが、O₂ 酸素を作る議論がされないのはなぜか？酸素は樹木によってつくられるもので、それを街に増やしていく事が都市景観も整い、環境も改善されていくのに、区画整理を見ても、知識のない設計者が行っていると感じます。利便性や、表面だけの経済性を優先して来たから、気候変動問題が起きて来た事をよく理解し、自然の中に人が生きている事を実感できる町づくり、深谷市になってほしい。市職員の意識改革が必要と強く感じます。</p>
16	<p>深谷市の下水を適正に処理していただきたい。雨水をなるべく流さないで浸透させて下さい。街中のエゴが環境を悪化させます。</p>
17	<p>深谷市はゴミが出せる日が多いのでたすかります。分別はきちんとして身近な所から取り組みましょう。</p>
18	<p>深谷市は日本全体からみて平坦地が多く、比較的災害が少ない場所である。それでも地球温暖化の影響は内陸特有の高温化により、人体へのダメージや農作物の損害等が著しく発生すると思われる。特に農地面積の多い当市は農業後継者の減少等により、遊休地が多く、更に温暖化により農作物生産量の減少を考えると、現時点でうまい対策はみあたらない。地球温暖化の原因を少しでも減らす対策として次のことを提案したい。1. 遊休農地に太陽光発電施設を設け易くする。(深谷市の方針に合わないと思うが、農地ばかり大切にしてもメリットが上がっていますか？逆に規制ばかり強く深谷市の発展になっていないと思われる。)晴天の時ばかりではないので太陽光発電はメリットが少ないという意見を耳にするが、バッテリーに充電するという組み合わせで解決できると考えられる。これからのバッテリーの性能は増々よくなっていくと思われる。(例えば個体バッテリー) 2. 現在の深谷市は商業施設も少なく、昔からの商店がやっと商売している状態である。市の中心部を区画整理しているが、計画から数十年たっており、なかなか進んでいないし、魅力ある商店も少ない。それに比べると深谷市よりも人口の少ない本庄市は、魅力的な営業施設がどんどん増えて発展している。そのため、深谷市の消費者はわざわざ車を使い市外へ買い物へ出かけている。(熊谷市へも) 排ガス防止の面からも魅力ある店舗を市内に呼び込むべきである。アウトレットもよいが、市の中心部が増々さびれてゆく。バランスが大事である。それには土地の規制をもっと緩めるべきである。以上、代表的な意見を二つばかり述べたが、地球温暖化を少しでも防止するための提案を市民の一人として、申し上げてみた。これからの深谷市として、もっと柔軟な考え方をもって、地球温暖化防止を進めて欲しい。</p>
19	<p>太陽光発電は、推進しないでほしい。最終的に環境問題になる。</p>
20	<p>台風等の大雨による洪水、河川氾濫等、住民に災害が及ぶ、危険性があつた時、いち早く、1人残らず危険や避難の情報が伝わり、被害者0人であつてほしい。</p>
22	<p>本園でもプラスチックやビニール等はすぐに処分するのではなく、ゴミや汚れたオムツなど入れる袋として利用している。また各家庭で出るプラスチック製品や空き容器・空箱などを、子どもたちの製作活動として活用している。スーパーの魚や肉は、トレーやビニールで包み一つ一つ包装してあり、家庭でのゴミが増える一方である。野菜や果物等は、包装せずバラ売りで良いと思います。ペットボトルもビンに変えたりできないものでしょうか。</p>
24	<p>率先した、再エネ電源の導入</p>

【市の取り組みの重要度・満足度の相対比較及び相関分析について】

環境への取り組みに対する満足度・重要度の相対比較と相関分析を行うため、満足度と重要度を下記により指数化しました。

① 各選択肢の指数の基数

基数	5	4	3	2	1
満足度	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満
重要度	重要	やや重要	どちらでもない	やや重要でない	重要でない

② 指数の算出方法（※満足度の場合）

$[5 \times (\text{「満足」の回答者数}) + 4 \times (\text{「やや満足」の回答者数}) + 3 \times (\text{「どちらでもない」の回答者数}) + 2 \times (\text{「やや不満」の回答者数}) + 1 \times (\text{「不満」の回答者数})] / \text{回答者総数}$ （※無回答・無効を除く）

③ 相対比較及び相関分析結果

分析の結果、満足度・重要度の最も高い取組は「廃棄物の適正な処分」となりました。また、満足度が低く、重要度が高い取組としては「不法投棄やポイ捨て対策」となりました。

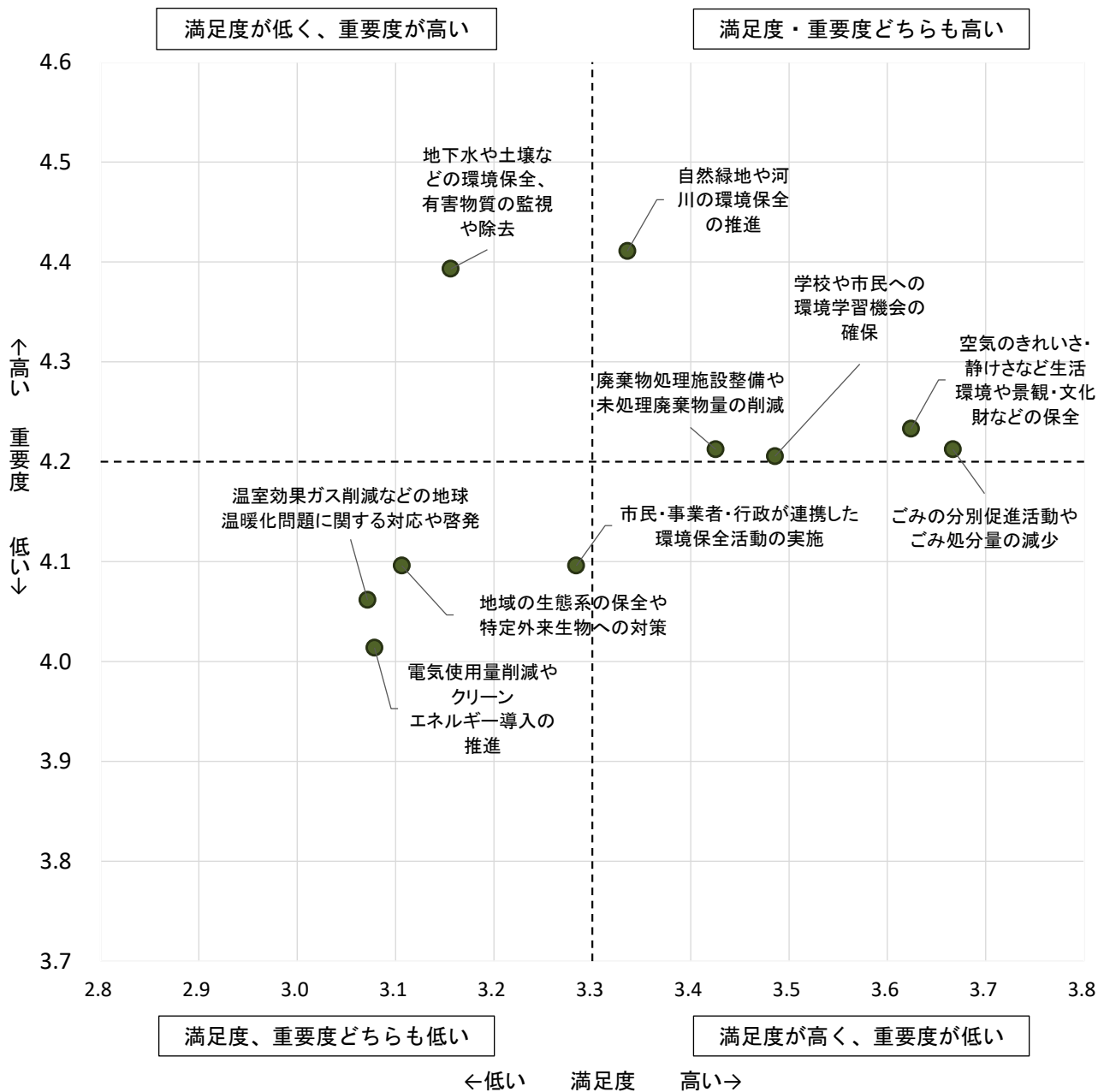


図 市の取り組みの重要度・満足度の相対比較及び相関（事業者）